

氏名	河村ちひろ	部署	社会福祉子ども学科	職名	教授
研究分野	社会福祉学（障害保健福祉施策、ソーシャルワーク）				
学位	修士（社会学）				
学歴	1982年早稲田大学第一文学部英文学専攻、1988年日本女子大学大学院文学研究科社会福祉学専攻博士課程前期、2019年日本女子大学大学院人間社会研究科社会福祉学専攻博士課程後期(満期退学)				
経歴	1996年新潟青陵女子短期大学福祉心理学科講師、2000年新潟青陵大学看護福祉心理学部福祉心理学科助教授、07年同教授、08年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科准教授、21年同教授				
所属学会（役職）	日本社会福祉学会、日本発達障害学会、障害学会、日本精神保健福祉学会、他				

【2021年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	てんかんのある子どもと若年者の視点－当事者の語りを対象とした質的研究の検討－	単著	なし		子ども・教職研究；5；P.19-29	河村ちひろ	2022.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	人生の最終段階に向けた医療・ケアの意思決定に関する住民調査～埼玉県A市における横断的調査の結果から～	共同	日本エンドオブライフケア学会第4回学術集会、Web開催		山口乃生子、會田みゆき、山岸直子、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂	2021.9	
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	2019年～2021年度埼玉県立大学研究開発センター 人生の最終段階に向けた医療・ケアに関する住民の意思表明プロセスを推進する研修プログラムの開発 中間報告	共著	埼玉県立大学研究開発センター		山口乃生子、會田みゆき、山岸直子、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂	2022.3	
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	地域資源を活用した住民による家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修の効果		研究分担者	2020.4～2023.3		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	精神科ソーシャルワークⅠ	○	15	精神保健福祉領域のソーシャルワーク論。ソーシャルワークの基盤となる理論の精神保健領域における応用について論じた。			
2	精神保健支援論		15	大学院博士後期課程オムニバス。自身の研究課題のセルフマネジメント、精神科領域における当事者アプローチなどの講義を行った。			
3	精神保健福祉論Ⅰ	○	15	障害者施策および精神保健福祉領域の医療と福祉に関する講義。精神保健福祉法・障害者総合支援法を中心に論じた。			
4	精神科ソーシャルワーク論Ⅲ	○	15	精神保健福祉領域のソーシャルワーク論。前期講義「Ⅰ」を基盤にアクティブラーニングも取り入れた。			
5	グローバルヘルス		1	障害者権利条約を中心に障害領域における国際動向。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	社会福祉専門演習Ⅰ	○	15	3年次生の専門ゼミ。ソーシャルワーク研究の方法論、他。			
2	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	4年次生の専門ゼミ。研究方法論（精神保健福祉、家族支援他）。			
3	精神保健福祉援助演習Ⅰ	○	15	精神保健福祉領域のソーシャルワーク演習。			

4	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	○	15	精神保健福祉援助実習の事前事後指導。
5	社会福祉専門演習Ⅲ	○	15	3年次生の専門ゼミ。障害施策領域における動向、他。
6	社会福祉専門演習Ⅳ	○	15	4年次生の専門ゼミ。研究指導（精神保健福祉、家族支援、他）。
7	精神保健福祉援助演習Ⅱ	○	15	精神保健福祉領域のソーシャルワーク演習。
8	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	○	15	精神保健福祉援助実習の事前指導。
9	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	○	15	精神保健福祉援助実習の事後指導。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	精神保健福祉援助実習Ⅰ	○	2021.4～2021.9	精神科医療機関における精神保健福祉士実習。
2	精神保健福祉援助実習Ⅱ	○	2021.10～2022.3	地域機関等における精神保健福祉士実習。
3	IPW実習		2021.8～2021.10	施設担当の教員ファシリテータとして5名の学生を担当した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		主指導 2名	副指導 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	社会福祉士国家試験対策セミナー	2021.12	社会福祉士「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」講座	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	東京都新宿区	自立支援協議会 委員（副会長）		2018.4～現在
2	埼玉県社会福祉協議会	福祉サービス利用援助事業契約締結審査委員会 委員		2019.10～現在
3	埼玉県春日部市	障害者計画等審議会 委員（会長）		2020.5～現在
4	埼玉県	医療的ケア児支援センター等あり方検討会議 委員（会長）		2021.12～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	さいたま市	こころの健康センター事業研修受講学生の推薦	2021
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント防止対策委員会 相談員		2021.4～2022.3
2	学科等における委員会等	精神保健福祉士審査委員会 委員長		2021.4～2022.3
3	学科等における委員会等	社会福祉子ども学科 社会福祉学専攻のあり方ワーキンググループ		2021.4～2022.3
4	学長指定プロジェクトへの関与	教育開発センター研究事業（A2）への参加		2021.4～2022.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			